

さくせすふるえいじんぐ

第44号（平成26年5月号） 発行日 平成26年5月1日



吉祥寺ホーム 創設20周年記念 第1号

寄稿

「創業理念を実践し

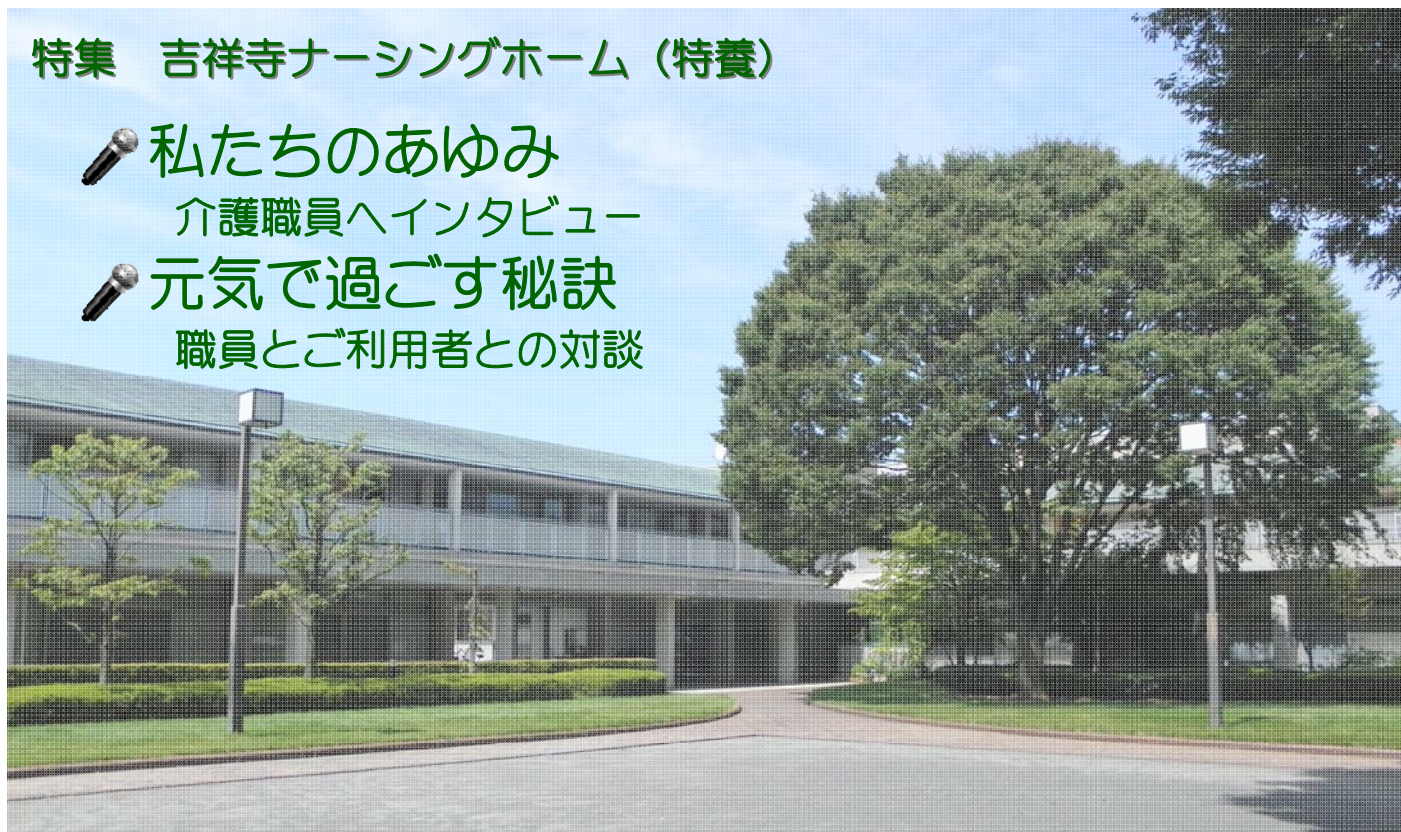
20周年を迎えて」

社会福祉法人 至誠学舎東京 理事長 阿 亜紀良

特集 吉祥寺ナーシングホーム（特養）

🎤 私たちのあゆみ
介護職員へインタビュー

🎤 元気で過ごす秘訣
職員とご利用者との対談





創業理念を実践し

20周年を迎えて

社会福祉法人 至誠学舎東京

理事長 阿 亜紀良

吉祥寺老人ホーム
と吉祥寺ナーシング
ホームは、事業が
開始されてから20
周年を迎えます。

この間、本事業の



運営にご尽力いただいた東京
都をはじめ、武蔵野市の歴代
行政関係者の皆様、そして温
かいご支援とご協力をいただ
いた地域の皆様、職員の皆様
に深く感謝を申し上げます。

顧みますと、都立養護老人

ホームと市立特別養護老人
ホームの設置を一つの建物に
合築して、公設施設の一体的
管理運営を社会福祉法人に託
したことは、東京都及び武蔵

野市並びに至誠学舎東京が、
公設民営の分野において新し
い先導的な役割を果たしたこ
とになります。

至誠学舎東京は、創設者稲
永久一郎の理念である「至誠
の心」による福祉事
業の実践を通じて、

保育事業と高齢者
福祉事業を伸展さ
せながら創設一〇
〇周年を迎えてお
ります。

今後は、地域にねぎした法
人として、身近な地域住民の
生活を重視した在宅福祉と施
設福祉の支援の質をさらに高
め、地域福祉の新たな展開に
役立っていききたいと思いま
す。

また、吉祥寺老人ホームと
吉祥寺ナーシングホームが20
年間の歴史の中で、積極的に
取り組んできたことは、地域
の方々に信頼され、かわり

を深めるように努めてきたこ
と、利用者の方々の利益や人
生観を大切に、丁寧な福祉
サービスの普遍化を追求して
きたことです。そして、これ
からは個々の福祉ニーズに応
えるだけでなく、施設を地域
の人々の生活の場として位置
づけ、開放していくことで地
域交流型高齢者総合福祉施設
の役割を果たしていくことが
大切だと捉えています。

そして、今の時期からの新
しい20年こそ、この吉祥寺
ホームの真価を問われる正念
場となることは間違いありま
せん。地域福祉施設の発展を
支えてきた職員は、福祉意識
が高く、専門性や未来思考が
あります。次世代の新たな創
造力に満ちた施設づくりが期
待されているのです。



新体制について職員へ…

敬老祭でのご祝辞



ご利用者と新年のご挨拶



元気で過ごす秘訣

くメッセージく



20周年特別号、第1回の担当は特養（吉祥寺ナーシングホーム）です。今回は特別企画として、ホームで生活されている中野さんと飯塚さん、お二人にお話を伺いました。少し緊張された様子でしたが、ホームでの生活、元気でいる秘訣など、お二人から聞いた楽しいお話をお届けします。（聞き手…篠宮妙子）

職員..吉祥寺ナーシングホームができてから今年で20年がたちます。お二人の20年前のことから、今に至るまでのお話を少し伺ってもいいですか？

中野..20年前の話...覚えていないわねえ。覚えていない？

職員..そうですね...思い出せません。（笑）では、20年前のことに限らず、楽しい話をしながら過ごしましょう。

職員..ホームの生活の中で、特に記憶に残る楽しい思い出はありますか？

飯塚..真っ先にバス旅行を思い出すわねー。あなたは知らない

かもしれないけれど、昔は一泊で旅行したんだよ。

職員..ああ、写真で見ました。みんなで温泉の浴衣着ている写真。楽しそうでしたねー。

中野..バス旅行は、今は日帰りでやっているわね。時々外の空気を吸うのはいいわ。

飯塚..女の人は新しいもの好きっていうのもあるからね。初めてのところに行ったりするのは、やっぱりわくわくするね。

職員..そうですね、楽しいですよね。

飯塚..そりやそうよ。年をとっても新しいものは好き。（笑）

職員..お二人とも生き生きとしていらっしゃいますが、普段の生活の中で楽しみにしていることや心がけていることは何ですか？

飯塚..私はね、よく食べてよく寝



飯塚さん

ること。ちゃんと食べるようにしていますよ。それから、しっかりと寝ること。8時間はきっちり寝てる。目が覚めて時計を見ると、きっかり8時間経っているの。自分の中に時計が埋め込まれているんじゃないかって、自分で可笑しくなっちゃう時もある。（笑）

中野..私は、みんなと一緒に歌をうたったり、おしゃべりをするのが好きね。月並みかもしれないけれど、それがやっぱり楽しい。若い人も同じでしょう？あとは美味しいものを食べたりしながらだと余計にね。

職員..そうですね。（笑）

職員..若い人たちに、何かメッセージがあればお願いします。

中野..若い人が頑張っている姿は清々しいわ。一生懸命な姿は感動的ね。今の若い人たちは本当に頑張っていると思う。頑張っている。

飯塚..うん、そうだね。若い人には、つて言ったって私から見ればほとんどの人が若いけど（笑）とにかく、やりたいことは一生懸命やりなさいって言い

たい。やっぱり、若いうちしかできないことってあるから。

中野..私は「どうにかなるわ」って何でも思うの。まあ時には、どうにかしないといけないってことも勿論あるけれど。そう思っていると、結局頑張れちゃう。

飯塚..そう、本当にその通り。

中野..自分自身の心の持ちようもそうだけど、くよくよしなことが大事。元気でいる秘訣はそれね。

飯塚..そうだね。くよくよししても結局いいことないしね。若い人が元気でいてくれると私たちも元気でいられるからね。

職員..ありがとうございます。お二人の話を聞いて、私も元気もらいました。今日はありがとうございました。

飯塚..楽しかった、ありがとう。

中野..今度は、美味しいお菓子も一緒によろしくね。（笑）



中野さん



『わたしたちの歩み』 介護職員へインタビュー



普段はナーシングホームでの行事や、ご利用者のお話などを載せておりますが、今回は若手職員から勤続20年のベテラン職員まで、5名の介護職員に、入職してからこれまでの歩みを聞きました。

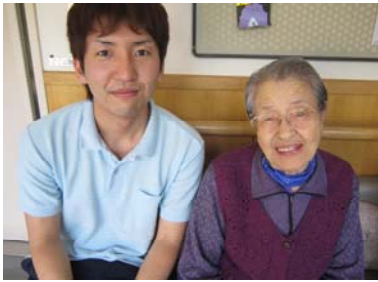
Q 福祉の仕事を始めたきっかけは？

平野貴彰さん

（勤務歴1年）

A 高校生の時、授業の一環で老人ホームを訪ねボランティアをすることがありました。進路に迷っていた時期でしたが、施設でご利用者と関わる中で、この仕事に興味を持ったことがきっかけです。

Q 入職してから一年が経ちまし



たが、印象に残っている行事は？

A 夏祭りには驚きま



した。施設で行う小さいものだと思っていたので、当日参加してみて、ご家族や地域の方、ボランティアの方も参加する大規模なお祭りに驚きました。

Q この仕事をしていて良かった、と思う瞬間はいつ？

A 辛いと思うこともありましたが、ご利用者から感謝の言葉を頂いたり、一緒に笑いあうことができたときです。

小泉里沙さん

（勤務歴1年）

Q 福祉の仕事を始めたきっかけは？

A 大学では保育を学んでいました。保育士の資格を取るための障がい者施設での実習中、介護にやりがいを感じたのがきっかけです。

Q どのような一年でしたか？

A あつという間の一年でした。最初の三か月

ぐらいは毎日緊張していましたが、だんだんと慣れてきて、今は自分の役割を不安なくこなせるようになりました。

Q 仕事をするにあたって大切にしていることは？

A いつも笑顔でいることを心掛けています。笑顔でいると、疲れていても元氣が出ますし、ご利用者から「あなたはいつも笑顔の人ね」と覚えてもらったこともありました。



小松さくらさん

（勤務歴2年）

Q 福祉の仕事を始めたきっかけは？

A 祖父母と一緒に暮らしていましたが、祖父が入院して、

毎日お見舞いに通いながら、もっと何か出来ることはないかと考え、お年寄りの役に立てるようにになりたいと思ったことがきっかけです。



Q 働いてきて印象に残っている出来事は？

A 長い間入院されていたご利用者が、退院後も私の名前を覚えていてくれたことです。

Q どのように気分転換をしていますか？

A 友人と会ったり、電話で話したりすること。後は、美味しいものを食べることです。

Q 仕事をするにあたって大切にしていることはなんですか？

A 一つひとつの介護や、ご利用者との関わりを大切にすることです。



茂田順由さん

（勤務歴7年）

Q 福祉の仕事を始めたいきっかけは？

A 同居している祖母の介護を経験して、福祉という仕事に興味を持ちました。

Q この仕事をしていて良かった、と思う瞬間は？

A この仕事は人との関わりなので、うまくいかないと思うことも多いです。ですが、その分やりがいもあり、ご利用者と良い関わりがもてた時の達成感や、充実感は、人一倍感じられると思います。仕事で悩む日が続いても、ご利用者の笑顔を見ると「この仕事をしていて良かった」と強く感じます。

Q 長くこの仕事を続けられる秘訣は？

A 介護の仕事は体が資本です。自



分の体を労わることも大切です。休みの日はよく休み、よく遊び、とにかくストレスを溜めないことです。プライベートも充実させることによって仕事にも良い影響が出てきます。人生の大先輩方から教えてもらうこともたくさんあり、必ず自分自身を成長させてくれると思います。

木村健一さん

（勤務歴20年）

Q 福祉の仕事を始めたいきっかけは？

A 学生の頃、「人の役に立つ仕事がしたい」と思っていました。高校生の時に各種専門学校の説明会があり、その中で福祉系の学校が目に残りました。「自分が希望している仕事はこれだ」と思い、今の道に進みました。

Q 20年で印象に残っている出来事は？

A 楽しい事も沢山ありますが、うまくいかなかった事、

大変だった事が印象に残っています。次からは上手くできるようにと自分自身で努力し、他の職員にもそれを伝えることで、より良いケアに繋がっていくようにしています。

Q どのように気分転換をしていますか？

A 私の場合は体を動かす事と、時間があれば旅行に出掛けます。自分がよく訪れる神社に参拝に行くこともあります。

Q この仕事をしていて良かった、と思う瞬間は？

A 「ありがとう」と笑顔で言ってくれた時でしょうか。また、普段とは違った体験が出来る事もあります。地元ラジオ局の番組に出演したり、学校で介護についての講義をする機会があったり、この仕事をしていたからこそ体験できたことだと思います。



急変時の心肺蘇生法や救急車を呼ぶ時の対応など、実際の生活の中で、それらの体験が役立ったこともありました。

Q 最後に、若手職員にメッセージをお願いします。

A 自分自身の健康にも気遣い大切にしてください。そして、まずは「石の上にも三年」という気持ちで頑張りましょう。私自身もそう思い、周りの人達にもたくさん支えられ、長く続けてこられたのだと思います。働きつつ、介護スタッフとしての専門知識や技術をさらに学び、身に付けることにより、ご利用者に日々健やかに過ごして頂くためのケアを提供できるようになっていくと思います。



新年度を迎えて：

吉祥寺ホーム ホーム長 大久保 実



桜が満開となり、今年も街の中が美しく彩られる季節となりました。

例年通り、今年も多くのご利用者がお花見を楽しまれてらっしゃいます。職員も春を感じながらの通勤を満喫しています。

吉祥寺ホームには、今年も元氣いっぱいの新卒の職員が入ってきました。吉祥寺ホームに配属されたのは1名でしたが、法人全体では7名の新卒職員が入職しました。吉祥寺ホームを見学に訪れた7名の初々しい職員を、ご利用者が笑顔で迎えました。配属は1名であることを伝えると、「全員が来てくれればいい！」と声をかけてくださる

方、拍手をする方もいて終始なごやかなムードの顔合わせとなりました。当ホームに入職する中川さんには7人分の初々しさを發揮してほしいと思っています。

吉祥寺ホームは今年12月に開設20年を迎えます。この「さくせすふるえいじんぐ」では20周年の記念号として特集を組んでいます。「二十歳」「成人」となった吉祥寺ホームはこれまで育んでくださった皆様に恩返しができる

新年度を迎えて：

吉祥寺老人ホーム

施設長 祭田 志保美



すっかり春らしい陽気となり、新年度を迎えています。

養護老人ホームを担当して、早、10年目となります。当施設は平成6年に地域に開かれた施設としてオープンし、地域交流の実施や園庭の開放等から今では園児さんの

施設として成長して行けるよう、努力してまいります。

今年度もどうぞよろしくお願い致します。



新入職員紹介



なかがわ なりみ
中川 也実
(生活サービス室)

まだまだ未熟で経験の少ない私ですが、早く仕事に慣れるように精一杯頑張りたいと思います。



賑やかな声や、近隣の方々の散歩姿等も見受けられ、すっかり地域に根差した施設となっております。

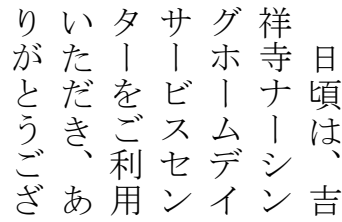
今年度も、130名のご利用者お一人おひとりが「生き生きと安心して過ごせる生活作り」を基本目標に、職員一同力を合わせていく所存です。

その取組みとして、ご利用者の個別のご支援は勿論、全体では地域との交流事業や様々な行事、クラブ活動、健康体操(介護予防)等を行い、そして、それが日々の生活の中で生き甲斐や健康作りとなるよう、ご支援を行って参ります。また、安全対策では、住環境の整備、防災安全対策・感染症予防対策等にも引き続き力を入れて行く所存です。

皆様、どうぞご支援・ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



北川
和秀



昨年度は、日帰りバスハイ
クを継続して行った他、午後
の時間に施設周辺のお散歩を
始めました。これは、体調的
に可能な方には、お食事や水
分摂取を含めて日中を活動的
に過ごしていただくことで、
体調のリズムを整えようとい
う狙いで行っています。皆さ
まに「当施設へ通うと、元氣

地域にお暮しの方々が困ることなく、利用しやすい制度に変更されるのを願っておりますが中々難しそうです。サービスは大きな変更が予定されていますので、詳細が分かり次第、順次情報提供をさせていただきます。

ご利用者様からのご家族様からも、頼りにしていただけるサービスの提供を目指して、職員一同、毎日、元気に頑張っておりますので、今年度も一年間よろしくお願い致します。

バザー物品提供のお願い

今年も作品展示、音楽、フリーマーケット、バザー、ゲームなどのコーナーがあります。さわやかな5月の一日を“さつき祭”でお過ごしください。お待ちしております！

ご協力お願い致します。

平成26年度 苦情相談
第三者委員ご紹介

新年度を迎え、改めて吉祥寺ホーム苦情相談第三者委員の皆様をご紹介します。

○山崎 フミ子 氏

地域代表

○山口 麻衣氏

学識経験代表

○井口 福彦 氏

法人評議員代表

平成26年度の面談希望者様との面談会は平成26年7月・平成27年2月を予定しております。

※苦情解決パンフレットは
エントランス等各所に設置
しております。

※各室の苦情受付担当者も
記載しています。

– 7 –

お祭り展示品作成中！ クラブ紹介



吉祥寺ホームの文化祭【さつき祭】が、今年は5月18日に行われます。集会室に展示されるのは、主に利用者がクラブ活動の中で作りあげた作品です。今回はそのクラブ活動を紹介します。



華道クラブ



華道クラブは花嫁修業や趣味として習っていたという方も、ホームに入所してから始めた方も、和気あいあいとした雰囲気です。



まずは真を決めます

華道の良いところは「花を生ける時にとっても集中するから、気持ちがすーっとして嫌なことも忘れられる」とKさん。「真（となる花）」を決めるまではすごく悩むけれど、その後のバランスを考えるのが楽しいのよ」とAさん。迷った時には先生も一緒に考えてくれます。同じ種類の花を使用していても、中心の花が異なるだけで、全く別の作品に仕上がるのが華道の面白みでもあります。思い思いに生けられた作品は、施設の廊下や玄関を華やかに飾り、季節を感じさせてくれています。



陶芸クラブ



週1回のペースで活動しています。

作品像を考えると、ころから、ひねり、削り、乾燥、素焼き、釉



掛け、本焼きなど一つの作品を仕上げるのには大変時間がかかります。でも、どんな風に焼きあがるのか、世界に一つの作品をドキドキしながら見るのが楽しみです。Yさんは食事用のお茶碗を自分のサイズに作成して、おかゆ用、ご飯用と使い分けています。Sさんの作るお地藏さん飾りはご



利用者の間でも人気です。どこに飾ってあるか探してくださいね！

アートクラブ



チラシや毛糸、セロハンテープなど身近な材料を用いて、ジャンルを問わず、様々な作品を作ります。普段捨ててしまうような、ちよつとしたお菓子の空き箱などが、おしやれな壁飾りに変身したりと、職員も作品の仕上がりを楽しみにしています。工作が苦手な方でも楽しめるように、ボランティアさんが様々なアイデアを出してくれるので、ご利用者からは「楽しかった」と毎回好評です。



この他にも、俳句クラブ、絵画クラブ、手芸クラブの作品も展示しますので、みなさん是非【さつき祭】にお越しください。

保育園児との交流会



3月、街で梅の花が満開になった頃、保育園の子供たちが卒園の挨拶に来てくれました。まずは卒園式で歌った歌を披露してくれました。先生・友達・お父さん・お母さん・おじいちゃん・おばあちゃん、みんなにありがとうの気持ちがかもった歌詞でした。そしてNHKの連続ドラマ「あまちゃん」の挿入歌を振りつけ付きで歌ってくれました。笑顔で元氣よく踊ってくれた園児に、ご利用者からは大きな拍手が送られました。ホーム長からも、元氣をくれた子供達への感謝の気持ちと、卒園と入学のお祝いに鉛筆をプレゼント。そしてもうひと



つ。何人かの利用者が協力し、半年かけて一針一針縫って作ってくださったパッチ

シヨータムは花吹雪



音楽・体操・書道・華道：いろいろなプログラムのあるデイサービス。作品作りに没頭したり、熱心に体を動かしたり、お腹の底から声を出したり。普段、家ではなかなかできないことを楽しんでいただいています。が、プログラム以外にも刺激的（シヨック療法とも言います）で特別な時間があります。

それはデイサービスの芸達者N職員のシヨータム（*体操プログラム・音楽プログラムなど通常業務はしっかりと努め



ワークの巾着も一人ひとりに贈られました。



小学生になることを楽しみにしている子供達の後ろ姿は、なんとも誇らしげでしたよ。

ておりますので、ご安心ください。

以前から利用者・職員からリクエストのあった「越路花吹雪のディナーショー（*夕食は出ませんが...）」

冒頭から「いよいよアンコールを含め、残り3曲となりました」と笑いを集め「別離」「ラストダンスは私に」を熱唱。「やっぱり上手いね〜」「こうちゃん！」「花吹雪！」と声がかかります。

「アンコールの曲は、『サントワマミー』です。良かったら、一緒に歌って踊りましょう！」曲が始まると、黒いシルクハットを被った職員がダンサーに扮して登場。みなさ

んをダンスに誘い、フロアーはダンスホールに早変わり。「懐かしいわ〜」とみなさん笑顔で歌い踊り、楽しい時間をすごしていらつしやいました！



お散歩



昨年の秋頃から、お天気の良い日の午後センター周辺のお散歩を楽しんでいたいています。風に吹かれ景色を眺め、自然と会話も弾みます。この日は、春の日差しを浴びながら近くの公園に行きました。小学生の遊ぶ姿に元氣をもらい、帰りにはセンター内の喫茶コーナーで甘いおやつを食べました。

歩いた後のおやつは特別に美味しいと、みなさん満足されたようです。



5月から新たなシリーズがはじまります その名も『だんだん畑』！



昨年平成25年度、私ども吉祥寺ナーシングホーム在宅介護支援センターでは、年間を通してシリーズ介護者教室を実施しました。介護についての情報や技術、また介護者自身の体験談、参加者同士で気持ちや介護について話ができる場を作ってきました。平成26年度も継続して情報を発信し、皆さんの集いの場を作っていきます。

そしてこの度、新たにシリーズ介護者教室の名前を考えました。『だんだん畑』この名前を見聞きして、在宅介護支援センターを思い出せるくらい広く親しんで頂ければと思っています。

この名前に込めた意味は、参加された方々とともに一つ一つ耕



していく、段になっていく畑に登り、実を結ぶこと。また、参加者それぞれが、一緒に耕していくことでつながりができ、大きな輪ができる、そういう会を作っていければと思います。皆で学び、考え、会を作り上げていきましよう！



「認知症について知りたい」「高齢者の病気で気をつけることは？」など、皆様の要望に応えていければと思っています。5月からの新シリーズをよろしくお願い致します！

【お知らせ】

新シリーズ初回は、認知症について皆さんと一緒に学んでいきたいと思えます。計5回の開催をします。

5回シリーズの第一弾として医師を招いての講演を企画しました。

認知症という病気とは、どのような苦薬があるか、対応はどうしたらよいかなど医師の講演を通して学んでいきたいと思えます。

今回は、吉祥寺本町にあります石澤敦クリニクスの石澤敦院長をお招きすることになりました。

認知症相談会のお知らせ

認知症について？



の疑問や質問、どのようにに接したらいいの？など経験豊富なベテランの専門相談員がお答えします。（無料）

◆場所◆

吉祥寺ナーシングホーム

在宅介護支援センター

◆日時◆

平成26年5月21日（水）

① 10時 ② 11時
③ 13時 ④ 14時

※ご都合の良い時間に

ご予約ください。



平成26年5月22日（木）
13時～14時30分

場所・吉祥寺ホーム集会室
現在は、ここまでしかお知らせすることはできませんが、5回シリーズの第二段以降のご案内は市報やパンフレットにてお知らせしていきます。どうぞご期待ください！

◆問い合わせ◆

吉祥寺ナーシングホーム
在宅介護支援センター

0422-20-0847

◆その他の5月相談◆

○市役所

平成26年5月15日（木）

0422-60-1846

○ゆとりえ

宅介護支援センター

平成26年5月7日（水）

0422-72-0313

※相談時間は上記と同様。

お気軽にご相談ください！

食事サービス室ってどんなところ？



今回は、施設全体の食事作りを担う「食事サービス室」の内側を紹介します。

吉祥寺ホームでは特養・養護・デイサービスのご利用者、地域への配食を合わせて、朝・夕180食、昼は280食位の食事を用意します。総勢32名の職員が交代で勤務しますが、10名程の職員が調理・盛り付け・洗浄等、分担して作業します。

さて、調理機器ですが、ご飯やお粥を炊くのは三升炊きの釜6個、煮物や汁物は100ℓの鍋で280人分が一度に作れる大きさ。揚げ物を作るフライヤー、150人分の魚が焼けるコンベクション



（オーブンみたいなものですね）など、どれもビッグサイズ！少し変わった形の電動の大根おろし器に、ジャガイモの皮むき機も大活躍します。

大人数の料理を、できるだけ作り立てに近い状態で一時に出さなければならぬので、厨房の中は戦場のような慌ただしさとなります。

また、噛む力や飲み込む力の弱くなったご利用者のための刻み食やミキサー食、病気の方への治療食も作



春献立とおやつセレクト



色とりどりの花が咲き乱れる春にピッタリの献立を紹介します。

筍ごはん、揚げ出



し豆腐（もみじおろしとオクラを添えてさっぱりと）
菜の花の梅かつお和え、いちご漬け、いちご。特に筍ごはん

るのですから、機敏な動きと職員同士の連携がとても大事です。さらに、重い鍋や釜を持ったり、洗ったりするので、すから体力がないと務まりません。

夏の厨房は外と同じくらいの暑さになることもあり、その中で作業は並大抵ではありません。そんな苦労もご利用者の「美味しかった！」というひと言で報われるのです。食事サービス室は、提供するお食事を通してご利用者を陰ながら支える、そんな職場です。



はご利用者に好評。「春が来た！」と感じられる食材の王様ですね。



そしてお待ちかねの

「おやつセレクト！」

*手作りうさぎ饅頭

*春色クラッシュいちごゼリー

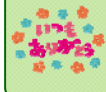
*オレンジソースの

ババロアムース

ご利用者の皆様には好きなものを選んでいただきました。皆さんとっても迷っていましたが、一番人気はいちごゼリーでした。見た目も味も楽しめるよう工夫をして作ったおやつ、皆さんならどれにしますか？



もつすぐ活動20年



創立時地域へボランティア活動の話をしたところ、多くの市民が協力の意思を伝えてくださったと聞いています。最初はランドリー、シーツ交換、配食サービスなどが中心でした。あれから20年、現在も継続してご活動のボランティアさん達を紹介したいと思います。

武蔵野第4小PTAは、子弟が卒業後も、シーツ交換やランドリーでメンバーを変えながらも若い力を発揮してくださっています。

レンガの会は、残念な事に革細工クラブが今年最後の活動となりました。当初はアイロンがけなども活動内容でした。ランド

リー室が畳敷きからフローリングになったのは、レンガ



革細工クラブの作品

の会の要望がきっかけでした。お陰様で80歳近くのボランティアさんも活躍できるようになりました。今後もレンガの会は他の内容での活動を考えてくださっています。

写真の方は、創立時より毎週その曜日をボランティア日として生活に組み込んで活動している方達です。

進化していく吉祥寺ホームボランティア活動を一緒に創ってくださっているボランティアの皆さまに感謝申し上げます。



ボランティア感謝の集い

「漢字一字に例えれば…」



平成26年3月15日(土)に吉祥寺ホーム集会室にてボランティア感謝の集いを開催致しました。その感謝の集い案内状返信で、ボランティア活動について「何の漢字を思い浮かべますか？」と伺いました。

ベスト5は、

- 第1位 (15) 楽
- 第2位 (11) 心
- 第3位 (9) 笑
- 第4位 (7) 愛
- 第5位 (6) 和



という結果となりました。

一票だけの中にも素敵な字の例えがありました。

会 (一期一会)

鏡 (将来の自分を

映している)

健 (今年も元気で

活動できそうです)

結 継 (継続は力)

心と心をつ結びます)

おかげさまで20周年…

社会福祉法人 至誠学舎東京

高齢者総合福祉施設 吉祥寺ホーム

〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町2-9-2

TEL 0422-20-0800 FAX 0422-20-0897

URL <http://www.kichijoji-home.com/>

発行責任者 大久保 実

発行 広報委員会



ボランティアの皆さまのご活動に感謝申し上げます。これからもよろしくお願い致します。



火 (活動曜日です)
彩 (私の人生をいろどる)
歩 (共に歩んで行きます)
想 (相手を想う心)
謝 (ボランティアされる方もする方もおたがいに感謝)